



山とまちの連携
「木製都市への転換」

山とまちの自然災害リスクというのは、どういうことなのか。いずれ来る東海・南海地震、それから気候変動で多発する台風災害、異常な集中豪雨。山林の土砂崩れ、放置間伐材の河川流出、それらが都市に被害を伝播していきます。

(災害で)放置人工林が崩壊する日本の山林の危機。これは国の責任だけでなく、全部人工林にしてしまった後の管理ができない経済状態になってしまった。要するに、この木を使う手立てを考えてもらわないといけない。

そこで、リスクマネジメントで連携させる。連携する山とまちの防災計画、連携させる山とまちの減災対策、これをやらない限り、どうにもならないということ。つまり、山の手入れと、木材を循環的に対応する耐災性をもった木製都市への転換を図る、まちの手入れが重要です。

自治体がコミニティと
取り組む防災自治

今までは国で決めた方針に従ってれば、何とかやってきていた時代が長く続いていた中で、急に自主防災といわれても、どうすればいいんだと戸惑うと思います。しかし、バブル崩壊後、阪神大震災がもう1回あると、この国はだいぶ傾くということがはっきりしています。

そこで、現在、国は災害リスクの開示と公表をどんどんやっています。つまり、住宅は個人財産だから被災住宅再建は自助が基本ですよ、という考え方です。これは、国が冷たくなってきたのではなくて、本来の姿に戻ったということ、はつきりと宣言していると私は見えています。



これからはハザードマップを持つての、災害大航海時代の始まりです。市長が船長で住民はお客さんではなく乗組員であり、自分も責任を負いかじ取りを間違えたと一緒に沈みますよ、という時代を明確に物語っています。

なぜなら、地方自治体がコミニティと取り組む防災自治、それは命と資産のリスクマネジメントというメッセージがもうすでに国から来ているからです。減災投資というのは、リスクを減らすことがあるということを理解して人々に伝え、その予防と軽減への努力を合理的にやっていること自体も要求されているのです。

わが家の
防災まめ知識
大募集

「災害に強いまち西条」の実現に向けて
皆さんの防災対策をお寄せください。

市庁舎別館 2階 災害復旧対策室 TEL0897-56-5151内線5843

市では、昨年の台風災害を教訓として、「わが家の防災まめ知識」を募集します。ご家庭や自治会などで取り組まれている防災対策や防災に役立つアイデアなど、皆さんの防災対策をぜひお寄せください。

皆さんからお寄せいただいた防災対策は、広報紙やホームページなどで市民の皆さんへ提供するとともに、家庭でできる防災対策小冊子の作成を計画しています。

■募集する内容

- わが家の防災対策、防災への心構え
- 自治会や地域での防災への取り組み・協力体制
- 手軽で費用がかからない防災の工夫
- 過去に経験した災害の体験談 など

次の方法でお寄せください。

住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記して手紙、はがき、ファックス、電子メールのいずれかでお寄せください。

■宛先 西条市役所 災害復旧対策室
〒793-8601 明屋敷164
FAX 0897-52-1260
e-mail saigai@saijo-city.jp

※注意事項 お寄せいただいた防災対策は公表する場合がありますので、匿名を希望される方は「匿名希望」と明記してください。